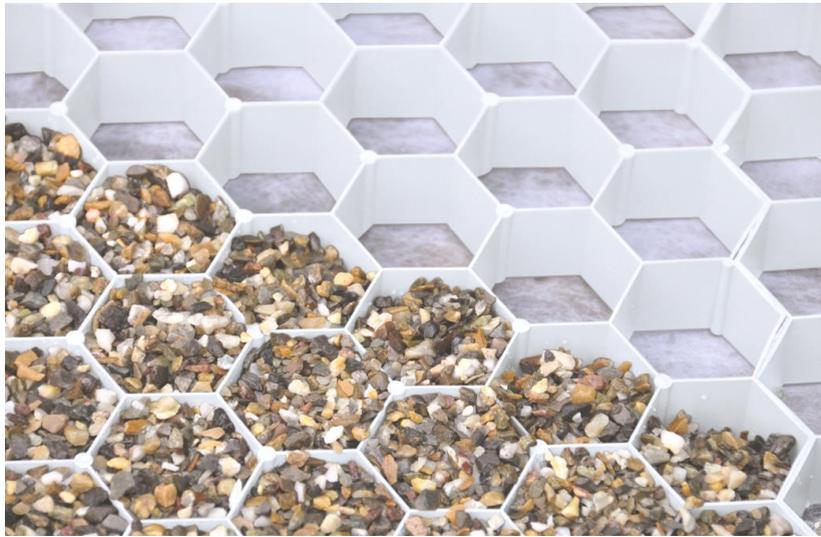


グラベルフィックス 施工要領

改定日：2018.06.19



この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。
グラベルフィックスプロ・ライト兼用です。



■ 使用用途

住宅アプローチ、住宅庭、屋上庭園、駐車場、車両用道路、歩行道路、公園など

■ 仕様

原材料 : ポリプロピレン製 (リサイクル品)

生産国 : オランダ (製造工場はプラハ : ISO9001)

本体寸法 : プロ : 1176 x 764 x 32mm

ライト : 1176 x 764 x 26mm

本体重量 : 1.53kg (1枚当たり)

セル構造 : 六角形ハニカム構造

セル直径 : 42mm

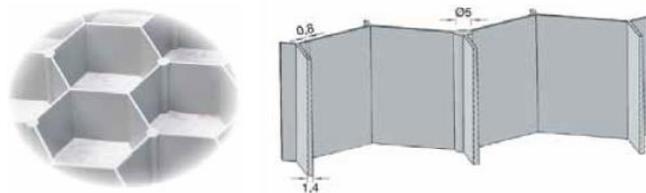
セル個数 : 530ヶ (1枚当たり)

セル壁厚 : 最上部 = 0.8mm、最下部 = 1.4mm

※強度を上げるため、セルの壁はベベル構造になっています。

耐荷重 : 約100t/m² (砂利を充填していない状態)

施工気温 : -20℃～70℃

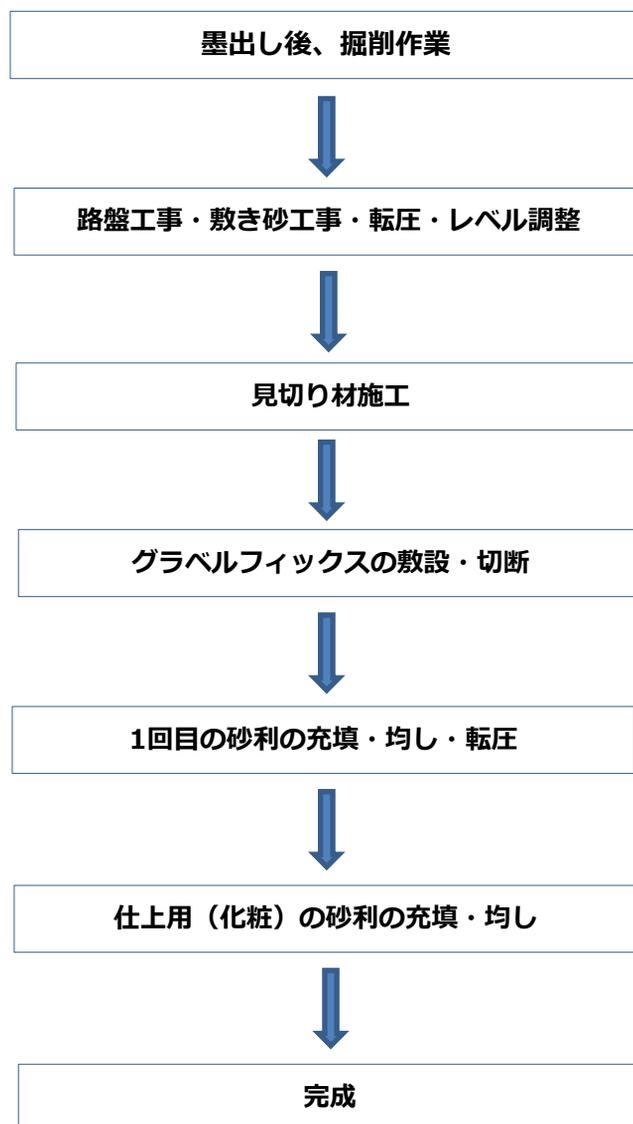


■ 保管方法

グラベルフィックスプロは、直射日光の当たる場所での保管は避け、屋内に保管してください。

また、歪み防止のため、横積みで保管し、縦積みは避けてください。

施工手順フロー

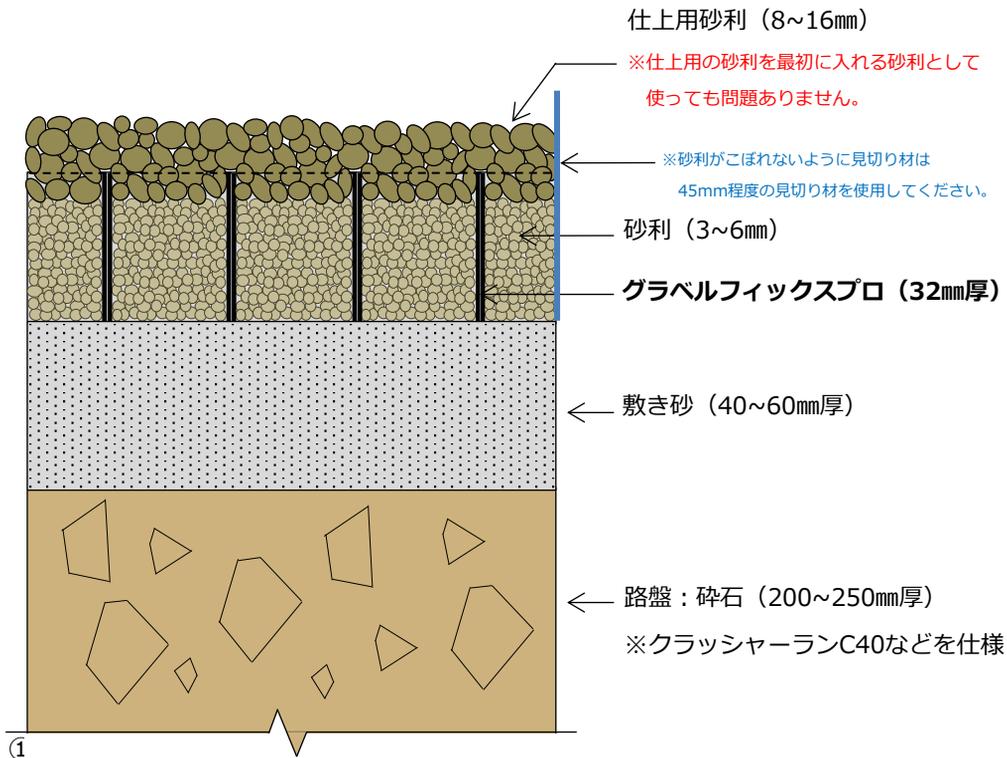


①下地の施工について

下地の施工は、インターロッキングと同様の下地が必要です。

特に駐車場など、重量物が通る場所での施工においては、路盤工事、敷き砂工事を行ってください。

■標準施工断面図（車両乗り入れの場合の図面）



掘削後、路床の不陸等、不良個所を整地します。

②路盤工事

碎石（クラッシャーランC40等）を厚み200~250mmを入れ、不陸を調整し、転圧機で固めてください。

※施工地域、状況によって、碎石の種類、深さは調整してください。

③敷き砂工事

碎石で固めた路盤に厚み40~60mm程度に砂を敷いて、トンボなどを使用して砂を均し、

不陸を調整して転圧機で固めてください。

砂を敷き詰めた後、グラベルフィックスプロの敷設箇所に見切り材を入れてください。

最後に、レベル調整して下地を完成させてください。

②下地の施工について

例) 見切り材設置



例) 転圧、レベル調整



例) 下地完成



※注意

見切りに関しては、グラベルフィックスプロの
レベル部分から高さ45mmで設定してください。
※砂利があふれるのを防ぐためです

③グラベルフィックスプロの施工について

①下地施工が完了後、グラベルフィックスプロを敷き詰めます。

グラベルフィックスプロには不織布がついていますので、並べるだけの簡単施工です。

目地が通らないように、千鳥配列で並べてください。



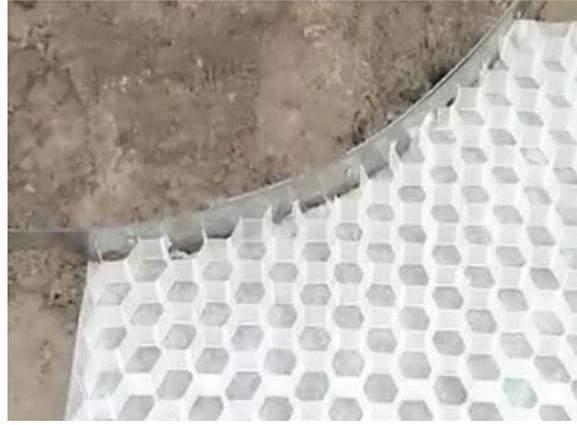
②グラベルフィックスプロの不織布は片側が長くなっておりまして、本体同士の連結は

重ねるだけで連結ができますので、下地の砂が見えないように並べてください。



④グラベルフィックスプロの施工について

- ③グラベルフィックスプロは鋸（のこぎり）で簡単にカットできます。
曲線、障害物がある場合は、鋸でカットしてください。



- ④グラベルフィックスプロの敷設完成。



⑤ 砂利の敷設について

⑤グラベルフィックスプロの敷設後、砂利の充填作業に入ります。

本体の強度を最大限に発揮するため、最初に充填する砂利は3～6mm程度の砂利を使用し、グラベルフィックスプロの表面一杯まで、隙間なく砂利を入れてください。



⑥砂利を入れた後、トンボ等を使って、均一になるように表面を馴らしてください。

表面を馴らした後、転圧機を使って、転圧してください。



⑥砂利の敷設について

⑦最初に敷いた砂利の上から、仕上用の化粧砂利を敷きます。仕上用の砂利は8~16mm程度の大きさの砂利を使います。砂利を入れたのち、同様にトンボ等を使って馴染ませてください。



⑧グラベルフィックスプロが見えなくなるまで、均等に馴染ませてください。それで完成です。
(※最初に入れる砂利と仕上用化粧砂利を同じものを使っても構いません。)

